

民有ブロック塀の安全対策を問う

— 6・18大阪府北部大地震を受けて〈防災対策特別委員会で〉 —

池田博一議員の質疑内容

7月2日開かれた区議会防災対策特別委員会で自由民主党の池田博一議員が「区内のブロック塀の設置状況」について区の調査内容を質問しました。

池田議員は、去る6月18日に発生した大阪府北部を震源とする大地震で、道路に面したブロック塀や石造塀が倒壊し、9歳の児童と80歳の高齢者が下敷きになり、死亡した痛ましい事故を取り上げ、区の安全対策に関して次のような質問を行いました。

池田議員 本年3月に改定された「北区地域防災計画」の「震災対策編」において、「第3章の安全なまちづくりの実現」の予防対策として掲げている「ブロック塀等の安全化」に関連して質問します。

区の施設については、地震時におけるブロック塀等の安全確保に全力を尽くすことは当然です。問題は民間所有のブロック塀等に関する安全確保です。民間所有者に、いきなり、お宅の塀は危険ですから、すぐ「改善してください」では理解が得られないと思います。どのようにアプローチをしているのか、お伺いします。

答弁(建築課長) 民地内のブロック塀に関しては、原則、所有者等に維持管理の義務がございます。まずはHP・

チラシ・チェックシート等での注意喚起および周知に努めてまいります。加えて、主要な生活道路等に関しては、パトロールの強化、情報収集を徹底して、危険なブロック塀を確知したら指導を行い、対応していきたいと考えています。

池田議員 第2の質問は、区において「ブロック塀等の撤去」と「狭い道路拡幅整備」をセットにした事業や生け垣助成の取り組みを推進していることは承知していますが、民間の危険なブロック塀等の改善にシフトした事業は見当たりません。そこでお伺いします。所有者へのPRや注意喚起からのアプローチも必要と考えますが、特に安全確保が必要な道路に面して設置されているブロック塀等については、その安全性を確保するための工事に対し費用の一部助成と合わせて、アプローチすることが効果的と考えますが、いかがですか。

答弁(建築課長) 池田議員のご指摘のとおり、所有者へ注意喚起等をして、なかなか改善まで至らないのが現状であります。また、ブロック塀の改善指導を行うに際しても、助成制度と合わせてアプローチすることも効果的であることも認識しております。

今後、ブロック塀の撤去費用等の助成制度については、他区事例等の情報収集をしながら早急に検討していきたいと思っております。

熊本市民の生活再建に義援金

自
民
党
議
員
団

平成28年に発生した熊本地震の被災者に対し、自由民主党議員団は地域住民や駅頭などで義援金活動を行い、5月17日、4名の議員を熊本市に派遣し義援金を寄贈しました。熊本市を訪れたのは戸枝大幸、名取ひであき、前田ゆきお、大沢たかしの4議員です。

一行は、まず熊本市役所を訪れ、大西一史市長に市民の生活再建に向け義援金をお贈りし、市長から感謝状をい

ただきました。その後、市役所内で被害状況や発災直後の対応、復旧に向けた取り組み等をヒアリングし、現地を視察して復興に立ち上がる多くの市民のエネルギーをひしひしと感じました。

今回の視察で受けた熊本地震の教訓を活かして、これからの北区の防災・減災に役立ててまいります。

被災地の一日も早い復興を心より祈念しております。



大西市長(中央)に義援金を寄贈した左側から戸枝、前田、名取、大沢議員

田端駅高台側のエレベーター着工決まる

花川区長は、6月25日の区議会建設委員会(大沢たかし委員長)に懸案の田端駅高台側のエレベーター設置計画を明らかにしました。

これに先立ち、自由民主党の戸枝大幸議員が6月19日開会の区議会定例会で会派の代表質問に立ち、「地元町会・自治会をはじめ地域住民がこぞってエレベーターの早期実現を強く要望している」と述べ、事業化促進を主張しました。

区の計画によると、設置場所は駅前公衆トイレ付近の道路植栽部にエレベーター棟(高さ約10メートル、15人乗り)を設置し、新設の歩道橋(約70メートル)を渡って東台橋に連結することになります。

今後のスケジュールは、今年度中に地元説明会と試掘工事及び実施設計、31年度に都道無電中化工事をおこない、34年度に完成の予定です。



高層ビルの前に高さ10mのエレベーター棟と歩道橋